菊連協　理事　各位

日時：令和５年２月１２日（日）１０時～
場所：菊水地区会館

# 菊連協　令和５年２月定例理事会　議案

## Ⅰ．行政から連絡事項　ヴィーライアン所長から

## Ⅱ．議題

### １．総務部より

（１）蠣崎会長からの報告について

① 白石区町内連合会連絡協議会２月会長会議（２月９日開催）内容。

② 札幌白石防犯協会常任理事会（２月９日開催）の意見。

- 協会としては、啓発物品（小学校新入生祝品、啓発旗など）の見直しを行い効果的な事業の執行に努めているが、現状の予算の縮小を行うと,しっかりした活動が出来なくなる。
- 負担金の減額については、白石区８連町のうち７連町が反対である。
- 菊連協は白石区連の大切な連町であり、もう何１０年も白石区内の連町がひとつになり活動しており、今後とも参画願いたい。
- 令和５年度から単町への住民助成金が１世帯当たり１３０円→２６０円、連町への助成金が 100 円→１２０円となる。不足ならば、その増加分から原資を賄うことはできないか。

③ クリーンさっぽろ衛生推進連絡協議会

- １月３０日開催の役員会（出席：永井会長、坂口会長）において、事務局より菊連協からの要望の経緯及び協議会からの回答について説明あり。
- 各委員からの主な発言。

㋑ゴミの問題は行政の仕事と言いながら、住民にとって一番身近な問題であり地域住民とともに取り組むべき問題であり、白石区全体で構成している事が大事。

㋺協議会はゴミなどの環境問題について、地域の共同体としてやっていこうという趣旨であり、大変なこともあると思うが何とかやれないものか。

㋩地域の会員が「クリーンさっぽろ」に対してどう思っているのかが一番大事。必要性を感じている人もいるのではないか。

㈡行政が全てやるべきとの気持ちはわかるが、関係者が集まり情報交換などを行うことは有意義であり脱会などは論外である。
㈱負担金について、昭和６１年５円、平成１９年3円、平成25年2．5円と見直しを図っており、実態を踏まえて議論してほしい。
㈳脱会については、中間連町の総意なのか。
㈴根底にあるのは負担金が高い、裏には無駄であり無くても良いということか。
㈵協議会は脱会については物言う立場ではないしどうこう決まる場ではない

（2）令和５年度事業計画における重点事業及び検討事項について

【重点事業（案）】

① 防災に備えて、地域団体との連携、支え合い体制作りに向けての取り組み（継続）
- 防災部会の開催。（毎月第２火曜日１３：３０～　菊水地区会館）
- 研修会、講演会の開催。（災害に備えての基本的対処方法（心構え、備え等）
- 基幹避難所での避難訓練の開催。（幌東小学校）
- NW と共同で、研修、防災備品の購入及び連町への配布。

② 行政と共同した町内会の諸課題についての取り組み
「未来につなぐ町内会ささえあい条例」（令和５年４月１日施行）に基づく町内会支援策に関する取り組み
- 町内会の加入促進、負担軽減、人材育成。
- 行政との意見交換の開催。

【検討事項（案）】

① 各種団体負担金（ふるさと会、白石防犯協会、白石防火委員会、白石区クリーンさっぽろ）削減等の取り組み。
- 令和４年度の取り組み結果を踏まえた対応。

② 菊連協の組織、役割のあり方検討（新規）
現状での問題点の整理、他連町の現状、関係機関との必要な協議の把握などを行いより良い体制作りに向けて検討を進める。

（3）令和5年度菊連協負担金について

① 令和５年度負担金の見直し
札幌市の住民組織助成金について、令和５年度より連合町内会に対する助成金が加入１世帯あたり１００円から１２０円に引き上げられる（1月31日北海道新聞朝刊）ことから、各連町の菊連協負担金について相当額を減じたい。

・札幌市からの住民組織助成金

令和４年度１００円→令和５年度１２０円　２０円増

・菊連協連町負担金

令和４年度　２５円→令和５年度　　５円　２０円減

(参考)　住民組織助成金（単町）

令和４年度１３０円→令和５年度２６０円　１３０円増

令和５年度菊連協負担金（試算）

| 連町 | 令和４年度負担額Ａ | | 令和５年度負担額Ｂ | | 負担額の軽減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 世帯数 | 負担金@25 | 世帯数 | 負担金@5 | A-B | |
| 東 | 1,548 | 38,700 | 1,548 | 7,740 | 30,960 | |
| 西 | 3,989 | 99,725 | 4,187 | 20,935 | 78,790 | |
| 南 | 2,790 | 69,750 | 2,861 | 14,305 | 55,445 | |
| 北 | 2,353 | 58,825 | 2,443 | 12,215 | 46,610 | |
| 上 | 824 | 22,600 | 813 | 4,065 | 16,535 | |
| 計 | 11,504 | 287,600 | 11,852 | 59,260 | 228,340 | |

② 令和４年度負担金の返還について

・令和４年度収支決算見込みにおいて、約100万円の繰越金が見込まれる。令和３年度の繰越額は６９３千円となっており、５年度当初に必要な経費については十分確保できることから、令和４年度負担金については年度内に各連町に全額を返還したい。

２．防災部より

３．渉外部より

４．女性部より

Ⅲ、関連団体より

１．　菊水地区会館運営委員会から

２．　菊水地区福祉のまち推進センターから

3．　菊水地区まちづくりネットワーク会議から
・２月16日（木）10時～　ネットワーク会議運営委員会を開催。

4．　菊水地区民生委員・児童委員協議会から

5．　菊水地区青少年育成委員会から

次回、３月定例理事会を３月12日（日）開催で如何でしょうか？

Ⅳ．今後のスケジュール

| 月　日 | 曜日 | 開始時刻 | 会　議　名　称 | 開催場所等 |
|---|---|---|---|---|
| 2月16日 | 木 | 10：00 | ネットワーク会議運営委員会 | 水地区会館 |
| 3月6日 | 月 | 10：00 | 総務事務局会議 | 菊水地区会館 |
| 3月9日 | 木 | 15：00<br>16：00 | 白石区ふるさと会総務委員会<br>白石区町内連絡協議会会長会議 | 複合庁舎 |
| 3月12日 | 日 | 10：00 | 菊連協３月定例理事会 | 菊水地区会館 |
| 3月13日 | 月 | 10：00 | 理事会議事録作成・配布 | 菊水地区会館 |
| 3月14日 | 火 | 13：30<br>15：00 | 菊連協　防災部会<br>福まち　役員会 | 菊水地区会館 |
| 3月15日 | 水 | 13：30 | 令和４年度白石区南地区除雪連絡協議会 | 区民センター |

※令和５年度定期総会は令和５年４月23日（日）　開催予定です。

以　上

## 札幌市新年度予算案の主な事業

| | | |
|---|---|---|
| 新型コロナ対策 | ワクチン接種 | 197億2600万円 |
| | 検査、患者搬送など | 187億4300万円 |
| | 中小企業への資金貸付拡充 | 955億4100万円 |
| | 公共交通ネットワークの確保 | 16億1900万円 |
| | 体験型観光などの支援 | 1億8600万円 |
| 子育て・教育 | 保育所などの定員410人増 | 19億4600万円 |
| | 妊娠、出産時に各5万円を支給 | 17億5500万円 |
| | 児童会館の整備、更新 | 7億6900万円 |
| | 学校施設の照明LED化 | 1億6600万円 |
| | フッ化物洗口の支援 | 1400万円 |
| 市民生活・福祉 | 除雪費 | 261億5700万円 |
| | 救急医療の体制強化 | 19億8000万円 |
| | 町内会活動の支援 | 8億2800万円 |
| | 福祉分野の組織横断的支援の拡充 | 2200万円 |
| 経済・まちづくり | JR札幌駅周辺の再開発関連 | 103億6400万円 |
| | デジタルを活用した行政サービス向上 | 34億1500万円 |
| | 環境関連の研究開発を行う中小企業向け補助金創設 | 8200万円 |
| | 2030年冬季五輪招致関連事業 | 9350万円 |
| | 新たな公共交通システムの検討 | 2800万円 |

## 2022年度補正予算案の主な事業

| | |
|---|---|
| プレミアム付き商品券の発行 | 22億円 |
| 保育施設の送迎車両の安全対策推進など | 6億5200万円 |

2023年度予算案を発表する札幌市の秋元克広市長

# ワクチン追加接種費盛る

### 新型コロナ対策

新型コロナウイルスのワクチン接種は、希望する市民が9月までに1回ずつ追加接種できるようにする費用として197億2600万円を計上した。変異株のゲノム解析を含む検査や患者の搬送、自宅療養者への食料品提供などの経費も盛り込んだ。

コロナ禍や物価高騰を踏まえ、事業再構築や再生可能エネルギー設備の導入などに取り組む中小企業向け

# 保育所を整備 定員410人増

### 子育て・教育

保育所などの整備関連に19億4600万円を計上し、定員を410人増やす。内訳は私立保育所240人増、認定こども園170人増。フッ化物を含んだ液体で口をすすぐ「フッ化物洗口」による虫歯予防に取り組む保育所、幼稚園の支援制度も創設する。

児童会館の整備、更新は7億6900万円掛けて進

# 除雪費 過去最大の261億円

### 市民生活・福祉

除雪費は過去最大の261億5700万円を計上した。積雪深が50㌢に達する場合など大雪が見込まれる際に、道路脇の雪山を全て排雪するほか、雪堆積場を75カ所から80カ所に増やす。

町内会支援に、8億2800万円を充てる。住民組織助成金は加入1世帯当たり130円から倍の260円に、複数の町内会でつくる連合町内会は同100円から120円に引き上げる。集団資源回収の奨励金は1㌔当たり3円から4円に、広報誌の配布謝礼は1部当たり13円から15円に増額する。生活道路のパートナーシップ排雪の町内会負担額は当面据え置く。

# 札駅周辺再開発に103億円

### 経済・まちづくり

JR札幌駅周辺の再開発関連は103億6400万円を計上。北海道新幹線札幌駅東改札口の実施設計や、創成川の上を東西に横断する歩道の検討を進める。市立学校の省エネ推進に向け、照明器具の発光ダイオード（LED）化改修の設計も行う。

2022年度補正予算案には昨年9月に静岡県で起きた通園バス置き去り死亡事件を受け、送迎用車両の安全対策などの支援費6億5200万円を盛り込んだ。

新幹線札幌延伸を見据える。新幹線札幌延伸を見据えた、新たな公共交通システムは実証運行に向けた検討を本格化させる。

デジタルを活用した行政サービスの向上には、34億1500万円を確保。市税口座振替のインターネット受け付けを10月、大型ごみ収集のネット受け付け、電子決済は11月から始める。

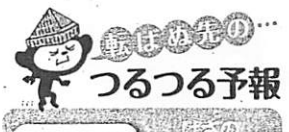
4月に市内で開かれる先進7カ国の気候・エネルギー・環境相会合関連では、環境分野の研究開発を行う中小企業向けの補助金を創設する。

## 札幌圏 きょうと明朝の天気

最高気温 最低気温

| | 6時 | 9 | 12 | 15 | 18 | 21 | 0 | 3 | 6 | 9 | きょう | きのう |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 中央区 | | | | | | | | | | | -3 -10 | -1 -13 |
| 南区 | | | | | | | | | | | -4 -10 | |
| 豊平区 | | | | | | | | | | | -3 -10 | |
| 白石区 | | | | | | | | | | | -4 -11 | |
| 東区 | | | | | | | | | | | -3 -10 | |
| 北区 | | | | | | | | | | | -3 -10 | |
| 厚別区 | | | | | | | | | | | -4 -11 | |
| 清田区 | | | | | | | | | | | -4 -11 | |
| 西区 | | | | | | | | | | | -3 | |

きのうの最高・最低気温は15時までのアメダス




### 新型コロナウイルスの相談・受診の流れ

**発熱・せきなどの症状**

電話 かかりつけ医がいない、相談先がわからない

# 白石区菊水町内会連絡協議会

## 《２月定例理事会》

日　　時　　令和５年２月12日（日）10：00～
会　　場　　菊水地区会館 会議室

○　行政からの連絡事項

１　各種団体の地域負担金調について　【資料１】

２　まちづくりセンター地域自主運営近況報告会の開催ついて　【資料２】
日時：令和５年３月６日（月）１３：３０～１５：００
会場：札幌市役所１２階　１～５号会議室
内容：自主運営制度説明、各地区の取組紹介、実践地区の近況報告

※参加希望者は2/22（水）までにまちづくりセンターに連絡

３　共同募金の実績等について　【資料３】
資料３のとおり、菊水地区合計で「６３３，３３６円」となりました。各町内会の皆さんのご協力に感謝申し上げます。また、区共同募金から交付された地区活動費「95，０００円」については、募金額に基づき各連町ごとに按分して配分します。

４　ポータブル電源等の貸出しについて　【資料４】
貸出物品：ポータブル電源　1500Wh、ソーラーパネル
貸出期間：最長１週間（原則）
申込場所：菊水まちづくりセンター

５　令和４年度清掃ボランティア活動実践者の推薦について　【資料５】
選考人数は菊連協全体として１名で複数連町から推薦があった場合調整が必要ですので、３月１０日（金）までにまちづくりセンターに調書の提出をお願いします。

６　住民組織助成金の振込について
令和５年度に住民組織助成金の増額が予定されており、金額が大きくなるため、今まで連町会長に手渡ししていたものを、口座振込に変更することを検討したい。

◎各種団体の地域負担金調

（円）

| 団体名 | 費目 | 負担金額<br>(R4) | 負担金額の<br>積算根拠<br>(R4) | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 白石区ふるさと会（所管：白石区総務企画課） | | | | |
| | 会費 | 292,625 | 一世帯あたり30円 | R4はR3剰余金還付があるため一世帯あたり25円で積算<br>R5は一世帯あたり20円に減額となる旨総務委員会で決定済<br>R6以降の取扱は今後の協議により検討される予定 |
| | 負担金<br>（ふるさとまつり） | 0 | 1地区あたり100,000円 | R4はふるさとまつり中止のため0円<br>負担額はふるさと会のふるさとまつり委員会において決定 |
| 白石区防火委員会（所管：白石消防署） | | | | |
| | 負担金 | 93,640 | 一世帯あたり8円 | 会則上、防火委員は連町会長の推薦に基づき、<br>連町会長が委嘱すると規定<br>（脱退は想定していないが、提起が行われれば協議対象） |
| 白石防犯協会（所管：白石警察署） | | | | |
| | 負担金 | 81,935 | 一世帯あたり7円 | 規約上脱退の定めなし<br>（規約は所管から連町に渡し済とのこと） |
| 白石区クリーンさっぽろ衛生推進協議会（所管：白石清掃事務所） | | | | |
| | 負担金 | 29,261 | 一世帯あたり2.5円 | 規約上脱退の定めなし |

資料2

札自治第1103号
令和５年(2023年)２月１日

各連合町内会長　様

札幌市市民文化局長

**令和５年度まちづくりセンター地域自主運営近況報告会の開催について**
**（ご案内）**

時下、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、日頃から市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
札幌市では、まちづくりセンターの運営を地域に委託する「まちづくりセンター地域自主運営制度」を実施しております。
このたび、地域自主運営制度への理解をより深め、身近に感じていただくため、各連合町内会関係者を対象とした近況報告会を、下記のとおり３年ぶりに開催することといたしました。
制度内容の紹介、実際に自主運営をされている代表者を招いての近況報告や質疑応答など、分かりやすくお伝えしたいと考えておりますので、多くの地域の方々にご参加いただきたく、お誘いあわせの上、お申込みくださいますようお願い申し上げます。

記

**１　近況報告会概要について**

⑴　日時　令和５年３月６日（月）13時30分～15時00分（開場13時00分）

⑵　会場　札幌市役所12階　１～５号会議室

⑶　当日次第（予定）

| | |
|---|---|
| 13:00 | 開場、受付開始 |
| 13:30～13:35（5分） | 開会 |

| | |
|---|---|
| 13:35～14:05（30分） | 自主運営制度説明、各地区の取組紹介 |
| 14:05～14:25（20分） | 藻岩下地区連合会による自主運営近況報告<br>《説明者》<br>藻岩下地区連合会会長　阿部　寛司　様<br>藻岩下まちづくりセンター所長　谷口　静徳　様 |
| 14:25～14:45（20分） | 質疑応答コーナー<br>・事前に質問を募り、紹介、回答する。<br>・当日質問も受け付ける。 |
| 14:45～15:00（15分） | 札幌市からのお知らせ |
| 15:00 | 終了 |

※　札幌市からのお知らせについて

市民自治推進課が実施している「地域まちづくりビジョンスタートアップ助成金制度」について紹介するとともに、制度を実際に活用している団体の、地域まちづくりビジョンの実現に向けた活動事例を紹介いたします。

## 2　参加申込について

(1)　ご出席は任意です。当日の準備のため、あらかじめ参加状況を把握する必要がありますので、参加を希望される方は2月22日（水）までに、最寄りのまちづくりセンター所長まで、参加予定者のお名前をお伝えください。人数制限はありませんので、ぜひとも多くの方をお誘いの上、ご参加ください。

(2)　ご出欠にかかわらず、自主運営に関する皆様からの質問をあらかじめ募集しております。参加申込の際に、併せて質問の内容を所長までお伝えください。

## 3　お問い合わせ先

札幌市市民文化局市民自治推進室市民自治推進課

五十嵐・藤間　TEL211-2253　FAX218-5156

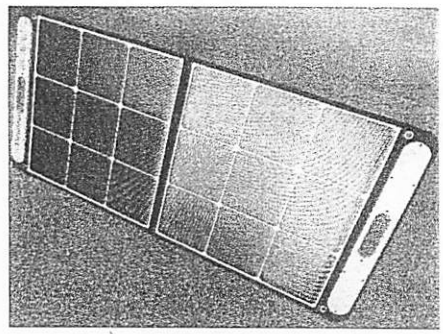
(shiminjichi@city.sapporo.jp)

資料３

連合町内会・町内会等団体の皆さまへ

# ポータブル電源等の利用ができるようになりました

このたび、各まちづくりセンターに以下のポータブル電源等を配備しました。

| 品名 | ポータブル電源 | ソーラーパネル |
|---|---|---|
| 概要 | Jackery 製 PTB152（１台）<br> <br><br>本体重量約 16kg<br>サイズ約 355×265×253 ㎜<br>定格出力 1800W<br>定格容量 1500Wh<br>(注)周波数は 60Hz です。使用する電子機器が対応するかご確認ください。 | Jackery 製 Solarsaga100<br>（JS-100C）（１台）<br>  <br>本体重量約 4.2 kg<br>収納サイズ 535×610×35 ㎜<br>最大出力 100W |
| 用途例 | 防災訓練や地域イベント | 防災訓練 |

これらの物品は、白石区町内連合会連絡協議会（町連協）との覚書により、所属の連合町内会や単位町内会、連合町内会が適切と認める団体にご利用いただけます。

**１　利用は町内会などの団体単位で利用し、利用期間は最長１週間（原則）**

団体単位でお申込みください。当該団体の代表者などに責任者になっていただきます。多くの方が利用できるよう譲り合い、原則、最長１週間の利用に留めてください。

**２　利用申込は白石区内の各まちづくりセンターで**

各まちづくりセンターで利用表に必要事項を記入して申し込んでください。

**３　安全に注意のうえ、物品の運搬・必要な消耗品、使用相当電力などは利用者の負担**

利用する際は、注意事項などを熟読のうえ、安全に十分配慮してご利用ください。

物品の運搬、盗難・破損等で物品が滅失したときや、物品の利用が原因で利用者や第三者に損害を与えたときなど利用中に生じた事態については、すべて利用者の負担とします。また、返却時は、貸出時と同程度以上に充電した状態で返却してください。

**４　物品の利用をお断りするときがあります**

これらの物品は、局地的災害などで停電が生じた場合、各まちづくりセンターの機能を最小限度維持するためにも使用する災害対策機材です。災害時や物品の整備等の際には、利用をお断りすることがありますので、あらかじめご承知おきください。

【本件に関するお問い合わせ】白石区役所地域振興課 TEL.861-2422
【実際の利用に関するお問い合わせ】白石区内各まちづくりセンター

# 令和4年度　共同募金状況及び活動費交付一覧

※　活動費合計額　　95,000　円　　（単位：円）

| 地　　区 | 町内会より募金内容 | | 合　　計 | 活動費交付額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 町内募金分 | 法人分 | | | |
| 東 | 42,436 | 0 | 42,436 | 6,370 | |
| 西 | 175,200 | 40,000 | 215,200 | 32,270 | |
| 南 | 148,000 | 0 | 148,000 | 22,200 | |
| 北 | 101,450 | 0 | 101,450 | 15,220 | |
| 上　　町 | 76,250 | 0 | 76,250 | 11,440 | |
| 未加入 | 5,000 | 0 | 5,000 | 750 | （菊水８条３丁目第１町内会） |
| | 10,000 | 0 | 10,000 | 1,500 | （クリーンリバー菊水上町町内会） |
| | 20,000 | 15,000 | 35,000 | 5,250 | （菊水４条１丁目町内会） |
| 合　　計 | 578,336 | 55,000 | 633,336 | 95,000 | |

※　令和4年度共同募金会より、95,000円の活動費が交付されました。

資料５

# 清掃ボランティア活動実践者の選考について

【白石区】

１　目　　的

永年にわたり、地域で清掃ボランティア活動を地道に続けている個人の労苦を称えると同時に、さらに清掃に関する理解と認識を深めてもらうため、感謝状及び記念品を贈呈する。

２　選　　考

地域社会において、環境美化に積極的に取り組んでいる個人で、次の条件を満たしている人を「清掃ボランティア活動実践者」として選考する。

(1)　選考基準

ア　５年以上にわたり、積極的・継続的に地域の環境美化活動を実践している人。

イ　現在、町内会（自治会）の環境・衛生関係役員（クリーンさっぽろ衛生推進員を含む）に就任していない人。

(2)　選考方法

清掃ボランティア活動実践者が属する町内会連合会・自治連合会から推薦のあった人から選考基準に基づき白石区クリーンさっぽろ衛生推進協議会が決定する。

(3)　選考人数

各町内会連合会・連合町内会１名とする。

３　推薦期限

令和５年３月２４日（金）までに提出願います。

４　実施主体

白石区クリーンさっぽろ衛生推進協議会

# 清掃ボランティア活動実践者推薦調書

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 住所 | 札幌市白石区 | | | | |
| (ふりがな)<br>氏　　名 | | 生年<br>月日 | 年　月　日生<br>(　歳) | 連絡先<br>電　話 | ― |
| 推薦理由<br>(活動状況の内容などについて) | | | | | |
| 所属町内会 | 所属町内会連合会・自治連合会名 | | 所属単位町内会名 | | |

# 地域を支える町内会活動への支援

## ◆町内会活動への支援　（当初387百万円）P.30

### ・住民組織助成金の制度拡充　拡充

令和５年４月１日から施行される「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」の趣旨にのっとり、町内会の自主的な活動への支援を強化するため、町内会への助成額を引き上げ

単位町内会：１世帯あたり130円→260円
連合町内会：１世帯あたり100円→120円

### ・町内会加入促進に向けた支援の強化　拡充

町内会加入を促進するための各種広報や、町内会と不動産事業者との相互理解・連携を促進するためのハンドブックの制作、町内会と協働して地域のまちづくり活動に取り組む不動産事業者の認定制度の創設等

### ・デジタル活用の促進　拡充

町内会のデジタル環境整備に向けた補助を継続するほか、デジタル活用を目指す町内会に対する専門家派遣の制度を創設

### ・ボランティア活動の環境整備　新規

町内会のボランティア活動に、市民が安心して参加できる環境づくりのため、活動中の賠償責任等を補償対象とするボランティア保険に市が一括で加入（市が保険料を負担）　7~8月開始

## ◆町内会の財政基盤強化

### 日常的な活動への助成等を幅広く拡充

### ・私設街路灯への助成　拡充　（当初87百万円）P.58

町内会等が設置する街路灯の維持やLED化に係る経費の補助に加え、設備更新時等の既存設備撤去費用への補助を新設

撤去費用補助の新設
１灯あたり17,000円

### ・ごみステーション管理器材への助成　拡充　（当初86百万円）P.56

ごみステーション管理器材助成のうち、町内会等が民有地等を確保し共用の箱型器材を設置する場合の助成率・限度額を引き上げ

町内会(箱型)の助成
助成率1/2→3/4
限度額50,000円→75,000円

### ・集団資源回収の奨励金　拡充　（当初192百万円）P.57

古紙、びん、金属等の集団資源回収に取り組む町内会等に対する回収量に応じた奨励金の引き上げ

奨励金（基礎分）
１kgあたり３円→４円
（１団体あたり平均7,600円増）

### ・広報誌の配布謝礼　拡充　（当初76百万円）P.46

広報さっぽろの配布に協力いただいている町内会等に対する謝礼金の引き上げ

配布謝礼
１部あたり13円→15円
（１団体あたり平均6,000円増）

**町内会の負担軽減**

### ・パートナーシップ排雪の地域支払額の据え置き

排雪に必要な人件費・燃料費等の上昇により、地域支払額の引き上げを要するところ、町内会等の負担軽減のため、当面地域支払額の据え置きを実施

【参考(令和４年度実績)】１kmあたり地域支払額（標準断面の場合）
528,400円　→　516,400円　　12,000円の負担軽減
（令和３年度と同額に据え置き）